

# SHOKEI



第466号  
2009年(平成21年)  
7月10日発行

SHOKEI 2009 466 尚綱学院大学生涯学習センターが名取市増田にオープン!!

## ゆりが丘キャンパス以外でも学べるようになりました 尚綱学院大学生涯学習センターが 名取市増田にオープン!!

- 開設式 ●受講者の声
- 体験者の声/アート入門講座・異文化理解講座ハワイの踊りフラ
- 2009年前期オープンカレッジ案内

### 子羊からの一通の手紙

大学事務長/阿部 達  
教職員エッセイ  
【梅の花】  
○ テレビが教えてくれること/中高教員 三浦千加

卒業生コラム  
はばたき  
1992年 尚綱学院高等学校卒業  
声楽家/広瀬奈緒さん

- 情報掲示板/学校行事報告 ●同窓会だより ●オープンキャンパス/オープンスクール案内

表紙写真/幼稚園遠足(年長組)

### 齋藤久吉先生の 思い出集出版



尚綱学院の理事長・学院長などを長く歴任され2006年に103才でなくなられた塩釜協会牧師の齋藤久吉先生の説教や関係者の思い出を集めた『継続は能力なり』が出版されました。先生の口癖をタイトルにしたこの思い出集には、尚綱学院の関係者も多数原稿を寄せており、全編から先生の宗教や教育にかけける思いが伝わってきます。後援会室でも手にとってご覧になれます。

連絡先:塩釜教会  
022-362-1031

**大学図書館**  
9月開館予定で順調に工事が進んでいます  
●建設事業費 600,000,000円  
●募金目標額 130,000,000円

**中高体育館**  
6月中旬より工事が始まっています  
●計画事業費 150,000,000円  
●募金目標額 35,000,000円

**エラ・オー・パトリックホーム**  
昨年解体し部材を保管。本年設計し、2010年建設・完成予定です  
●建設事業費 70,000,000円  
●募金目標額 35,000,000円

**募金報告**  
目標総額:200,000,000円  
募金総額: 47,506,176円(6月12日現在)  
募金件数:781件(6月12日現在)  
法人ホームページ上に募金報告を掲載しております。報告内に募金いただいた皆様のご芳名を掲載させていただきます。  
尚綱学院で検索 → 建設整備事業募金をクリック  
アドレス <http://ap.shokei.jp/bokin/>  
連絡・問い合わせ先 法人事務局募金事務局  
電話:022-381-3334 FAX:022-381-3335  
Mail:bokin@shokei.ac.jp

みなさまのご協力お待ちしております。  
**建設整備事業募金のお願い**  
昨年6月に1年半の期間を限定し始めた募金事業は、皆様のご支援を頂き、これまでに**781件** 総額**47,506,176円**のご寄付を頂戴いたしました(6月12日現在)。ご協力いただきました皆様に厚くお礼申し上げます。  
この募金活動は、現在進めている3つの建設整備事業(大学図書館建設・中高体育館整備)エラ・オー・パトリックホームの移築復元)に係るもので、本学院にとって念願の事業でしたが、財政事情から整備が遅れていました。本学院は教育改革の下に大学の学料拡充、中高の男女共学化を進めていますが、教育の高度化・安全な教育環境・建学の精神の体現を叶わせる、なくてはならない事業と考えています。尚綱で学ぶ生徒や学生を、より良い環境のもとで過ごさせたい。これは私たち一同の願いです。経済状況が厳しいこともあり、目標額(2億円)には至っておりません。皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

謹んで  
哀悼の意を  
表します。  
増子弘信様(60歳)  
(中高教員 増子貴紀様御尊父)  
4月17日逝去されました。  
金子三郎様(83歳)  
(本学院元理事)  
4月12日逝去されました。  
石田彰様(59歳)  
(短大保育科教員 石田彦様御令弟)  
5月25日逝去されました。

中・高音楽部  
定期演奏会中止に関するお詫び  
尚綱誌465号に掲載いたしました定期演奏会ですが、部活動の諸事情を考慮して中止せざるを得ないことになりました。関係の皆様には、ご迷惑おかけしましたこと深くお詫び申し上げます。(管弦楽部顧問 小川祐弥)

第11回  
保育部会同窓会のご案内  
日程:11月7日(土)  
場所:名取校舎内  
受付:12時半~  
礼拝・総会:13時~  
懇親会:14時半~  
会費:2,000円  
●連絡先:保育科副手室  
381-3416(担当) 佐藤

学校と保護者の皆様を。母校と同窓生を。生徒と保護者の皆様を。もっと尚綱を通じてつながって欲しい。そんな気持ちで出来ました!  
年6冊5回発送  
5月 7月 9月 12月 2月  
※9月のみ通常・入募集特集号同時発行  
この1冊で、尚綱学院の「いま」がよくわかります。SHOKEI

尚綱誌購読のお願い  
尚綱誌の購読を通じて間接的に  
母校への支援が出来ますので、ご協力宜しくお願い致します。  
①尚綱後援会にご入会いただくと、機関紙「尚綱」が年6冊5回発送されます。(会費は年額2,000円もしくは、複数年でも受け付けております)  
②購読ご希望の方は、下記にお振込みいただくか、もしくはお電話いただければ、こちらから専用振込用紙を郵送致します。  
③継続購読ご希望の方は、2,000円以上ご入金いただくか、専用振込用紙を同封致しますので、それをご利用ください。  
④ご芳名掲載を望まない方は、匿名希望と振り込み用紙の通信欄にご記入ください。  
郵便振込口座No 02230-3-2116  
お申し込み先  
TEL.022-381-3342 電話受付時間 木曜日を除く 平日9:00~15:30  
FAX.022-381-3467  
E-mail:koenkai@shokei.ac.jp  
尚綱学院後援会事務局  
〒981-1295  
宮城県名取市ゆりが丘4-10-1

募集中!  
記事を読んだ感想、思い出のお写真、情報等。お待ちしております!  
お手紙 おハガキ FAX E-Mail にお送りください。

編集委員  
徒然日記  
5月のある日、そこには同窓生の華やいた笑顔がたくさんあった。と同時に、ここに来ることが出来なかった方の顔も浮かんで来た。やさしさの中に凛とした姿の大先輩。忙しいながらも英語教育に情熱をかける現役教師。今日この会場に来るはずだった世界した方。さまざまな顔が重なった。  
明治から平成と時が流れても、同じ「尚綱」という場で教育を受け、それぞれの場で活躍しつつ一つの精神でつながっている「力」を確かに感じた。そして「今、自分自身にできることは?」と問いかけてみた。(T.S)

発行 尚綱学院後援会 〒981-1295 名取市ゆりが丘4丁目10番1号 TEL:022-381-3342  
印刷 田宮印刷株式会社 仙台支店 〒984-0051 仙台市若林区新寺3-5-18プロトビル2F TEL:022-295-0281(代)  
一冊送料共2,000円

# 尚絅学院大学生涯学習センターが 名取市増田にオープンしました!!

多くの方からのご要望に応え、名取市増田に「尚絅学院大学生涯学習センター」が開設されました。語学から、芸術まで様々な講座を開講し、さらなる地域貢献・生涯学習活動が展開されます。

## 開設式

6月1日(月)、名取市の太田副市長を招いて記念式典が行われました。佐々木学長より「教育の成果を市民と共有できる拠点としてだけでなく、地域の人が気軽に立ち寄れる場所にした」と挨拶があり、太田副市長からは「一街の中に活動拠点ができ、たことは大変嬉しい」とのお言葉をいただき、新たな地域の拠点誕生を共に喜びました。



というわけで、生涯学習センターで

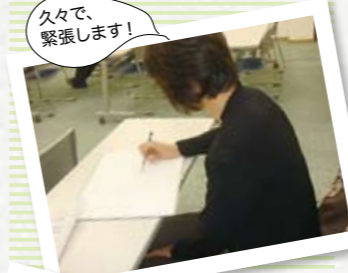
体験しました!

## アート入門講座

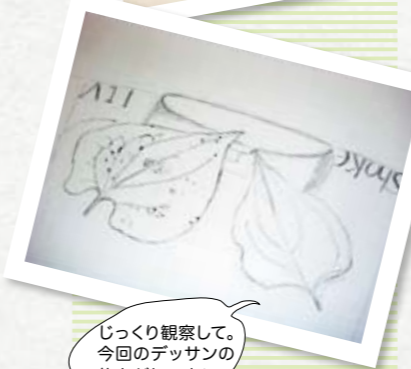
絵を描くのは、学生時代以来という同窓生の今野さんに体験していただきます。

今日のテーマ「好きなものを描く」

各自花ぬいぐるみ、本、写真等持ち寄り、画材も自由で油絵、水彩、色鉛筆、クレヨンなどさまざま。講師の阿部邦利先生より、モチーフの選び方、観察のポイントの説明があり、描き始めました。今野さんはモチーフを、ごくたみの葉っぱと決め、デッサンに入りました。しげしげと観察しな



久々に、緊張します!



じっくり観察して。今回のデッサンの仕上がりがです!

がらこの葉っぱを描きおえたところで、先生からのアドバイス「女性ならではの感じで、丁寧に優しく描けていますね! デッサンの時強弱をつけるのもっとよくなります。机の上にあるメガネケース、パンフレットも入れると全体にまとまりますよ」という言葉に更に筆が加速していきま

## 今野さんの感想

「今日は色付けまでいかなかったけれどもデッサンに慣れてくれば、1日で仕上げるのも可能かな? などにより楽しく描くーを目標にそして達成感を得るために、この絵を仕上げたいと思います。いろいろな年代の方々が一生懸命取り組まれていて刺激を受けました。」



## 生涯学習講座を受講して 受講者の声

私は、「アート入門講座」と「なとり元気塾講座」、大人学として「メンタルヘルスについて学ぶ」を受講しています。アート入門講座では、クロッキーの描き方や風景画等自由に画材と取り組み、生活の苦など忘れられ、毎回和気藹々と受講しています。上手下手は別として無心に絵を描いていると、なぜか心が和み幸せを感じます。このように、オープンカレッジや市民大学講座は大変魅力のある講座で、楽しみながら私達に生きる力と道標を与えてくれますので、多くの方に是非お奨めをしたと日々考えていました。学びには定年がありません。年代と共に脳の衰えを実感する出来事が沢山できます。脳の健康を維持するためにも、こういった関わりを持つことは非常に大切になってくるかと思えます。そういった意味でも、私は尚絅の同窓生でほんとうに良かったなあと幸せを感じています。



## 開設の「あいさつ」

尚絅学院大学生涯学習センター増田  
エクステンションセンター長  
太田健児



## 受講者の声

「英語でしゃべりたい初級編」を受講して  
吉田ひろみ

私が「英語でしゃべりたい初級編」を受講したのは、友達が国際結婚し海外に任んでおり、いつか会いに行った際に、直接英語で会話が出来たら「なんて素晴らしいだろう」と思ったのがきっかけです。授業は、毎回本当に楽しく、学習させて頂いています。講師の橋由加さんは日本人ですが、去年までアメリカのモンタナ大学で日本語を教えていた2人のお子さんの母親でもある、とても素晴らしい先生です。授業では、日本とアメリカの習慣の違いなど、大変興味深いお話を、毎回して下さり、今まで英会話は、難しいと思っていた先入観がなくなり、英語でたくさんお話がしたいという気持ちになります。

## 2009年前期 オープンカレッジ

ゆりが丘開催  
名取市増田開催

学び直しの日英ことばのコミュニケーション学  
講師:尚絅学院高等学校非常勤講師 遠藤八郎

英語でしゃべりたい! 初級編  
講師:州立モンタナ大学准教授 橋由加

英語で会話を楽しみたい! 中級編  
講師:元尚絅学院大学教員 アントーマス

初めてのハングル講座  
(入門 初級I・初級II・中級)  
講師:東北大学大学院研究生 崔絢話

初めてのイタリア語講座(入門)  
講師:元宮城県イタリア語通訳 佐藤範佳

絵画教室アート入門講座  
講師:画家・元聖和短大教員 阿部邦利

俳句講座(ことばの輝きを探る)  
講師:「海程」同人、宮城県現代俳句協会幹事長 中村孝史

川柳実作入門講座  
講師:川柳宮城野社編集同人 若山大介

文章講座(エッセーや自分史を書こう)  
講師:河北新報元記者、論説委員長 阿部友康

癒しの講座(アロマで癒し)  
講師:アロマイストラクター 関淑恵

デジカメとパソコン利用講座  
講師:江陽写場カメラマン 林友幸

うたごえサークル  
講師:作曲家 地主幹夫

異文化理解講座(ハワイの踊りフラ)  
講師:フラインストラクター 石川眞奈美

健康スポーツ講座(テニスA・B)  
講師:A=ナスバテニスクラブ B=太白テニスクラブ

ジュニアテニス講座  
講師:A=ナスバテニスクラブ

## 市民大学講座

大人学  
「メンタルヘルスについて学ぶ」  
講師:星ヶ丘病院精神看護専門教育  
看護師長 遠藤太

なとり元気塾「素晴らしき映画と人生」  
講師:尚絅学院大学表現文化学科准教授 広瀬愛

めざせ国際!  
「異文化コミュニケーションとは」  
講師:尚絅学院大学現代社会学科教授 黄梅英

めざせ国際! (1)中国編  
「悠久の国「中国」の今を知る」  
講師:尚絅学院大学現代社会学科教授 黄梅英

めざせ国際! (2)イタリア編  
「管理栄養士のイタリア語留学滞在記」  
講師:元宮城県イタリア語通訳 佐藤範佳

めざせ国際! (3)韓国編  
「映画で知る今日の韓国」  
講師:尚絅学院大学現代社会学科准教授 姜永培

5/18 開設

尚絅学院大学生涯学習センター増田  
〒981-1224  
名取市増田1丁目15  
TEL:022-381-1490

お問い合わせ先  
尚絅学院大学  
エクステンションセンター  
担当:任司剛雄  
TEL:022-381-3315  
mail:nshoji@shokei.ac.jp

## 異文化理解講座 ハワイの踊りフラ

ゆりが丘キャンパスでも  
体験しました!

ゆりが丘キャンパス



フラ初体験の六戸さんが挑戦しました。

フラと聞き「あの優雅な踊り」と思い日頃の運動不足を解消したい! の思いで参加しかし意外なことに踊るだけでなく、最初の30分は、石川先生のハワイの歴史や言葉の意味など詳しく講義があり(講座のタイトルの意味がわかりました)。それからストレッチに入り、ステップとハンドモーションの繰り返し練習、その後音楽に合わせてフラの踊りの開始です。当日は、先生直伝の手作りフラスカートの方もいらっやいました。

## 六戸さんの感想

「ゆったりとした動きが、ヨガや太極拳に「見ているかな?」と思ったら、身体の内側にキウー! 続けられかなり筋肉引き締め効果があります。ハワイを知っています。」

も、ハワイの歴史は知りませんでしたので、身共に鍛えられる講座のようにです。



「アロハ」の意味も色々!

手の動きが、言葉なんです



これまでも人気のあった講座は継続しながらも、「めざせ国際人シリーズ」(中国、韓国、イタリア各編)、次世代を育てる責任のある大人自身の問題を扱う「大人学」(大人のメンタルヘルス講座)「なとり元気塾」、私たちの未来を正しく予測し、その準備に役立つ「未来学」(動物行動学からみた男と女・家族(後期日程)、OBの方や市民の皆様が自主的に企画する市民企画講座「新しいのちの教育シリーズ」(後期日程)など、本学院の持つ学術的・文化的資本を総動員して教員一同全力でこの講座に取り組んでいきます。本学院の教育理念は「共に生きる」ことです。この理念を実現するために、より多くの市民の方々、在校生とご家族を卒業生の皆様方に受講していただきたいと思います。



大学事務長  
阿部 達

「主の祈り」

マタイによる福音書 6章9〜13節

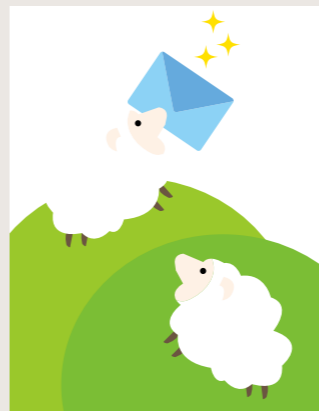
主の祈りは、礼拝の中でみんなが声を合わせて祈ります。これは主イエスが弟子たちに教えられた祈りで、祈りのポイントを私たちに教えています。

私が主の祈りを知ったのは中学生のときでした。呪文のようで意味もよく理解できませんでした。やがて、「これは「私」の祈りでなく「我ら」の祈りであり、私の隣人と一緒に祈る祈りであることが分かりました。主の祈りは、第1に神の思いが実現されるように、第2に私たち自身のために祈るようになっています。人は無意識のうちに2番目の祈りだけをし、聖書の言葉さえも自己中心に解釈し、自己正当化してしまいがちです。

聖書には、「神はすべてを時宜にかなうように造り……」(コヘレト3:11)とあり、「神の定められた時」を

わきまえて生きていくことが、神に造られた人間にとって最善であると教えています。私たちは、神の時と神の計画を知るために祈るのかもしれない。

喜びのとき、悲しみのとき、悩みのとき、どのように祈ったらよいかわからない時、主の祈りを祈るときに、不思議にそのときに適った祈りであることに気付かされます。主の祈りは、祈りとは神との対話であり、神と人間との関係を教えるとともに、私の隣人を意識させる、究極の祈りといえます。



梅の花  
Vol.7

中高教員 三浦千加

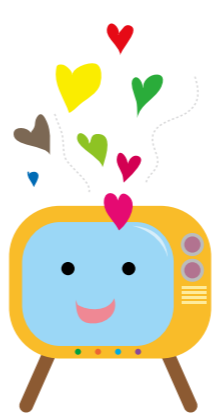
テレビが教えてくれること  
小さな中に、  
ちょっとした教訓が。  
大事にしたい、  
日本の昔話。

先日「まんが日本昔ばなし」の「親を買った」という話を見る機会があった。

話は貧しい若夫婦が、もし親がいれば親孝行ができるのに、と思っていたところ、彼らの前に「親、いらんかね」と売りにきた男がいた。2人はなかなかの200文を払い、親を買う。一週間後、地図に描かれた場所に来なさいと言われ、2人はきつと貧しい人たちがろろと自分たちの布団や着物をほどこして、ちゃんちゃんこを作って待つ。さて、1週間後、彼らがその場所に行ってみると、大きなお屋敷があった。中に入ると、そこでは親戚たちが「家は自分のものだ」「倉は私のものだ」と醜い相續争いをしてた。主である老夫婦はそんな親戚の姿にうんざりし、つきはぎだらけのちゃんちゃんこを持参してくれたこの2人に心を打たれ、正式に彼らを養子にする。その後、血のつながりのないこの親子は孫にも恵まれ、実の

親子以上に幸せに暮らしましたという話だ。  
この話には現代にも通じる人間像が描かれていて、親を敬うというメッセージがストレートに伝わってくる。わずか10分のアニメの中で見事にそれを表現していた。お坊さんや牧師さんのありがたいお話よりも、教師が説教を垂れるよりも、厚生大臣や官僚が高齢化社会について云々言うよりも、このアニメを子どもたちに見せた方が親やお年寄りを大切にすることでないかと思った。

思い返せば子どもの頃、私は道徳の時間というものが大嫌いだった。だけど昔話をよく見たし、童話を読むのも好きだった。思うに昔話の中には単純なようでいて深い教訓がこめられているからこそ、ずっと読み継がれてきたのではないかと思う。先人たちの教えといふのは本当に侮れない。家にお年寄りがいれば昔話も話してもらえなくてあろうが、核家族化が進んだ今日ではそれも難しい。是非「まんが日本昔ばなし」は再放送してもらいたいと思う。



卒業生コラム

はばたき 第7回

広瀬

奈緒さん

1992年 尚綱学院高等学校卒業  
1993年 尚綱学院高等学校卒業  
1997年 尚綱学院高等学校卒業  
2001年 尚綱学院高等学校卒業  
2003年 尚綱学院高等学校卒業

◆《ラ・スフェラ・ムジカーレ》のデビューCD「バロックな対話」を08年秋にワオンレコードよりリリース。音楽現代にて推薦、レコード芸術にて準推薦を受けた。

1992年 尚綱学院高等学校卒業  
1993年 県内大学学芸部音楽科入学  
1997年 卒業  
2001年 英国王立音楽大学大学院入学  
2003年 同大学古学科を上級ソリスト・ディプロマ(国家演奏資格)を得て首席で卒業  
RCM古楽コンクール第1位など数々のコンクールで入賞を果たし、国内外でのコンサートツアーやCD録音等に携わる



Nao Hirose



声楽家を選んだきっかけは?

歌が好き。それが私のすべての原動力です。どうやら、4才の頃から家族に「声楽家になりたい」と言っていたそうです。そうはいつても、両親の反対に遭っていたので、勉強を始めたのはとても遅かったです。

仕事上で、やりがいを感じる時

やはり、1つの音楽が仕上がったときでしょうか。そして、お客様の前で納得の演奏が出来て、喜んで頂けたときです。また、合唱団や個人の生徒さんにレッスンをしているのですが、何か少しでも上達して下さったときに、やりがいを感じます。「教える」ということは、とても難しいと感じながら、少しでも分かっていたら、努力と試行錯誤の毎日です。生徒さんごで作り上げた「小さな達成感」をレッスン毎に感じています。

尚綱時代の思い出

1番は、合唱部での活動です。あの頃は、上手に歌うということよりも、ただ、ただ楽しく歌っていました。アメリカ演奏旅行や定期演奏会などもありましたが、何よりも宗教曲を歌うのが好きでした。

よく響く礼拝堂で「賛美礼拝」したのも良い思い出です。

夢を追う尚綱生にアドバイスを

私は音楽が好きでしたが、英語が嫌いでした。文法も単語も覚えられなかった。ですが、大好きな音楽を追うために、留学を決め、英語を勉強することになりました。学校で勉強していることは、今大切に思えなくても、いつか必要となるときがあると思います。それは全ての教科ではないかもしれませんが、でも、沢山のことを吸収しておいて下さい。今、将来の目標が見つかっていなくてもいいのです。きっと、今していることに意味が見いだせる時が来ると思っています！



TIME SCHEDULE  
ある日の広瀬奈緒さんを追う!

- 8:00 起床
- 9:00 朝食
- 11:00 自宅にて生徒さんのレッスン
- 14:00 昼食
- 15:00 練習(演奏会の譜読みなど)
- 17:00 リハーサル会場へ
- 18:00 某演奏会のリハーサル
- 21:30 帰宅
- 22:30 帰宅

ホームページ  
WAON RECORDS-CATALOGUE  
http://www.waonrecords.jp/catalogue.html

# 情報掲示板

新緑が目まぶしい初夏がやってきました。その季節に合わせて校内では、様々なイベントが盛りたくさん！楽しい様子を写真と共にお届けいたします。

## 法人事務局

### 大学実習棟完成

6月1日(月)尚綱学院大学実習棟竣工式が行われました。柔らかな光が満ちる実習棟の中で約40名の出席者と共に礼拝が守られ、工事の無事終了を感謝しました。

加藤正名理事長より、実習棟で学生に多くの思い出と、良い教育研究の果実が実るようとの式辞があり、次いで施工者より工事過程の説明が行われました。上西義昭常務理事からは、着工から約3ヶ月、あつという間の竣工に驚嘆した様子で感謝の辞が述べられました。



熱心に設備・機器類の取扱い説明を受ける教職員に、変化する尚綱を支える土台を見た竣工式でした。  
(企画調整課 阿部祐子)

## 幼稚園

### 春遠足

仲良しのみんなと一緒に！



海岸公園冒険広場にて

【年長組】  
年長組は5月21日(木)海岸公園冒険広場に遠足に行ってきました。子どもたちは何日も前から楽しみにしており、遠足当日はウキウキした様子で登園してきました。

現地では、ふわふわドームやローラー滑り台、ターザンロープなど、大型遊具で沢山身体を動かして遊びました。ふわふわドームというトランポリンのような遊具では、園長先生が怪獣になり、子どもたちを追いかけまわすなどして楽しんでいました。帰りのバスではもう一度行きたいという声が聞かれました。友だちと楽しさを共有できたことが、何より嬉しそうでした。  
(幼稚園教員 猪股川田)

【年中組】  
新緑のまぶしい5月皆で出かけ

初めての遠足です。子どもたちはリュックにお弁当とおやつを詰め、ワクワクドキドキいっぱいバハ山動物公園に出発しました。園内では目の前の動物たちを見て、「おおきいね」「くさくさい！」「その迫力と大きさに驚いていました。また、「べんぎんさんここにちは」「こっちにきてください」と声を掛けるかわいらしい場面もありました。



ハチ山動物公園にて

【年少組】  
すみれ組(年少)の子ども達は、初めて全員で乗る大型のスクールバスに朝から大ハシャギ。バスごっここのうたを歌いながら、畑道と山道をどんどん進んでいくと目的の名取スポーツパーク！いつも外遊びが大好きなすみれ組なので、大きな芝生のある広場と、普段は遊べないような遊具に目をキラキラさせていました。

アスレチックの滑り台で登ったり降りたりを何度も繰り返したり、芝生の広場でゴムボールを投げたり追いかけたり。あちこちへ走り回り、あつという間に1日が終わってしまいました。

## 中学校

### サイエンスキャンプ

5月7日(木)から9日(土)まで「まちづくり」をテーマに私たち中学1年生は栃木県にサイエンスキャンプへ行きました。チームに分かれて自然にふれたリアシモのショーを見たり、ホンダの車を見たりして、自分たちの視野を広げていきました。「もっといいまち」「これからまち」「自然とまちの大切な関係」など各チームがまちづくりに対して、それぞれの意見を大切にしながら真剣に取り組みました。最後に各チームが自分たちの考えるまちについてプレゼンをして、キャンプは終了しました。キャンプを通して、自分たちのまち、自然の大切さを知ることができました。  
(1-A 高篠梨彩君)



知っておきたい「いじめ」と「暴力」  
CAMPワークショップ

5月14日(木)、15日(金)の2日間、CAMPみやぎの方が来てくださって、いじめや暴力のことを学びました。安心「自信」「自由」をテーマにみんな自分たちのことを振り返ったり、お互いのことを一生懸命に考えました。自分の気持ちをしっかりと伝えること、危ないときに使う叫び声や逃げ方など、普段はあまり考えたことがなかったようなことを学びました。みんなで意見をたくさん出し合い、活用できることを楽しく考えて学び、「安心」「自信」「自由」を改めて実感することができました。  
(1-A 斎藤優華)



## 高等学校

### クリスマス教講演会

5月21日(木)、朝の礼拝から引き続き、てみやぎ愛泉教会牧師の布田秀治先生を講師に、ハンセン病の問題について学びました。初めに元患者の提訴から政府による控訴断念までを追ったドキュメンタリーを観ました。耳を覆いたくなるような人権侵害のすさまじさに、生徒たちの目はスクリーンに釘付けになりました。その後の講演では、あらゆる口調ながらも確信を持った布田先生のお話。生徒たちは引き付けられ、礼拝で読まれた聖句「あなたを開放することも、見捨てることもない」(ヨシヤ1:5)を響かせられる思いがしました。  
(宗教部主任 佐々木蓮也)



同日、中学校に講演に来てくれた、日本国際飢餓対策機構の、奥村いずみさん

した。お弁当もおやつも美味しく食べ、とても楽しく過ごしてきました。  
(幼稚園教員 黒川紗綾)



名取スポーツパークにて

### その他の行事報告

(幼稚園で行われたその他の行事です)



5月18日(月)「しょうけいふぁーむ」にて田植え



6月10日(水) 大学にて梅の実とり



6月3日(水) 花の日礼拝



6月8日(月) 避難訓練

## ズームインの取材が来た！

4月27日(月)幼稚園にてTVの取材がありました。朝三マギテレビで放送している「ズームイン!!SUPER」という番組です。今回は番組内の「？ボックス」という楽しいコーナーの取材でした。名前の通り中の見えない箱に入っている物を、手で触って当てるというものです。見えない物に触るのは、ドキドキするものですが、子ども達はなかなか積極的でした。緊張する姿もみられましたが楽しかった！の笑顔も沢山みられました。



普段は自分が見る側のTVですが、今回は自分たちが取材されて映るというところで、子ども達にとっても楽しい経験となったようです。  
(幼稚園教員 清野正恵)



【番組情報】  
三マギテレビ  
ズームイン!!SUPER!  
毎週月・金曜日 朝5時20分〜8時放送中

## ドイツ短期留学

人の優しさを感じました

### ドイツ短期留学に参加して

3月18日から2週間、中学、高校生合わせて16名でドイツに滞在しました。始めの1週間は、シュターデという町のホームステイをし、ホストと一緒に遠足へ行きました。市庁舎や歴史博物館を見学に行ったり、貴重なバイブルガンにも触れる事が出来ました。ドイツが世界で初めて原子力発電を停止したこと、世界中が注目している現場に行き、実際に話を聞き、人間の未来について考えられていることを知りました。最終日のパーティーで私たちは「ソーラン節」を歌ったり「日本食」を作って紹介しました。

後半の1週間は、ベルリンに滞在し、毎日のように美術館などへ行ったり、歌劇などを鑑賞しました。こんなに歩き回り芸術に触れ、充実した時間は今までありませんでしたし、こんなにも人の優しさを感じたことはありませんでした。  
(3年 熊合美帆)



# 情報掲示板

## 色んな学びがあった1週間 特進・学習合宿

学習合宿を終えて

(4月27日(月)～5月1日(金))

今回の合宿は前回の合宿よりもハードだったように思います。でもとても充実していました。去年は生活リズムがなかなかつかめず、夜中の2時に寝る日がほとんどでしたが、今回はだいたい12時過ぎには寝ることを目標にしました。だから早く宿題を終わらすために休み時間などの隙間時間を有効活用することができました。そしてこの目標をデスクの前日以外は達成することができました。また、テレビや携帯電話が無くても1週間やっていけるものだと実感しました。だから家でもこんな生活を続けていこうと思います。



友達から学んだこともたくさんありました。去年は友達と一緒にだから合宿を乗り越えられたというのが一番大きかったけれど、今年は個人での力でも乗り越えた感じがします。でもそれはやはり友達が居たおかげで、去年の場合は勉強も休み

時間も友達と一緒にだったけれども、今回は1人ひとりが集中して、分からない問題があった時に助け合ったり、この時間にこれだけ終わらそうとか友達同士で目標を決めて学習するなど、「学習を中心とした支え合い」ができたと思います。



同じ部屋だった友達を見ていても自分の学習スタイルの改善すべき所を見つめることができました。これを見ていかなければならないと強く思った合宿でした。

(2年 千葉成美)

## 遠足

(1年/蔵王)

Go! my way

4月28日(火)蔵王で、高校1年生の遠足がありました。今回、遠足委員会として企画や準備に携わって様々な事を学ぶことが出来ました。遠足当日、時間の関係でレクリエーションが出来なかったのは残念でしたが、野外炊飯などの活動を通して沢山の人の交流を持てたと思います。今回の活動が今後の学校生活にとっての糧となれば良いと思います。

そして、私たちのクラスでは男女一緒にクラスで協力して、炊飯が出来たが配りかたが釜戸の火を



男子が積極的にやってくれたので、とても頼りがいがありました。男女間で衝突もりましたが最後はみんなでおいしく自分たちの作ったご飯を食べました。この遠足をきっかけに、クラスの仲が一段と良くなったと思います。

(遠足委員長1年 佐々木瞳 日下純)

## 2年/天平ろまん館&オルゴール館

私たちが組は、4月28日(火)浦谷にある天平ろまん館と松島にある「オルゴール館」に行きました。天平ろまん館では、様々な砂金取りをしました。最初はなかなか砂金が見つからなかったけれど、徐々に砂金が見つかり楽しく取ることが出来ました。中には1度に3個も取った人や、予想外な取り方を見ていて面白かったです。



その後、オルゴール館に行き、昔のオルゴールを聴いた

り弾かせてもらったりしました。昔のオルゴールは大きくて弾くのが大変でした。その後は実際にオルゴール作りをしました。簡単に思いつくものを作る事が出来ました。

遠足を通してこれから年間クラスの絆を更に深めていきたいと思っています。

(ホームルーム委員長 坂根なつみ)

## 3年/福島相馬

4月28日

(火)に私たち3組は、遠足で福島県相馬市に「イチゴ狩り」&「BBQ」に行きました。幸い当日は天気にも恵まれ、絶好の遠足日和でした。2時間ほどバスに揺られ、イチゴ狩りの場所に到着しました。早速、「イチゴ狩り開始!!」イチゴ狩りを終え、海の近くの公園で休憩をとった後で、イチゴ狩りの場所に戻り今度はBBQをしました。イチゴを食べた後で満腹でしたが、結局すべて食べ尽くしました。集合写真を撮ったり、おみやげを買ったりしたあと、帰りのバスでは、カラオケ大会で盛り上がりました。



**その他の行事報告**  
(中学・高校で行われたその他の行事です)

[中学校]

4月28日(火)遠足

5月29日(金)生徒総会

5月5日(火)演劇部単独公演

5月29日(金)生徒総会

6月8日(月)陸上記録会

[高校]

5月29日(金)生徒総会

5月29日(金)生徒総会

## 大学・短期大学 学生会総会

多くの出席で行われました

2009年度学生会総会が、4月24日(金)に尚綱学院大学体育館にて行われました。今年度の学生会総会は「2009年度学生会常任委員会委員長承認」「2009年度学生会常任委員会役員及び会計監査委員承認」「2008年度学生会収支決算報告及び会計監査報告」「2009年度学生会予算案」「学生去会規約の改正」「学生会常任委員会承認団体」「学生会要望について」以上の7つの議事を審議しました。これらの議事は、学生会総会に出席した1436名の学生から承認を受け議決されました。

今年度の学生会総会は、昨年を上回る出席を得ることができ、学生会活動への関心協力の精神が高まってきていると実感した学生会総会となりました。

(学生会常任委員長 人間心理学科2年 今野拓太)



## シネマパラダイス

映画を楽しんだ1日でした

表現文化学科では、恒例の新入生歓迎上映会、「第3回尚綱シネマパラダイス」を、4月27日(月)に尚綱学院大学学生会館多目的ホールで開催しました。この企画は、イベント実行力を習得するための「表現技術レッスン」の一貫として例年実施されています。本年度は、イベント初体験となる2年生の約半数の35名が学生スタッフとして参加し、学外のプロのイベントスタッフの方々から、舞台演出、照明、音響、映写を、指導いただきながら、舞台用の機



## 2008年度大学・女子短期大学部 進路状況

2008年度の卒業生の進路状況は、学科別、業種別、勤務地等下の各表に示されています。

昨年度の卒業生は心理、健康の各学科、保育専攻科、大学院を合計すると391名のほり、そのうち就職希望者は339、就職内定率は95.5%と高い数値を得ることができました。2006年度(93.3%)、2007年度(93.6%)と順調に就職率は伸びてきました。次に進学についてみると、大学院(6名)、4年制大学編入及び専攻科

(19名)、専門学校(3名)と昨年並みの数値が得られました。

これを勤務地別にみると宮城県内が64.6%と多く、一昨年来漸減傾向を示しているものの、依然として「地元志向」の強さをうかがえます。しかし、昨年度後半に発生した急激な景気の後退に対して、進路就職部はもとより本学全体で就職支援対策をたて、県内外の企業開拓に鋭意取り組みしております。ご父母の皆様には昨今の経済状況をお汲み取りいただき、首都圏からの採用にも柔軟に対応していただきますよう、切にご協力をお願いする次第です。

進路状況 就職内定者

卒業数	就職希望者				進学者		その他(不明等)		
	正採用	嘱託	臨時	アルバイト	未決者	大学院等		専門学校	
人間	113	84	0	4	5	7	4	2	7
健康	98	84	2	6	0	3	2	0	1
保育	160	94	7	34	2	4	17	1	1
専・保育	10	7	1	1	0	0	0	0	1

2009/05/01現在

業種別内定者数

産業分類	人間	健康	保育	専攻科
建設業	4	1	0	0
製造業	8	10	1	0
情報通信業	11	2	0	0
運輸業・郵便業	1	0	0	0
卸売業・小売業	31	12	5	0
金融業・保険業	8	1	3	0
不動産業・物品賃貸業	2	0	0	0
学術研究・専門・技術	0	2	0	0
宿泊業・飲食業	4	3	2	0
生活関連サービス業	4	4	0	0
教育・学習支援業	3	4	59	7
医療・福祉	3	15	55	2
複合サービス事業	3	1	0	0
サービス業	1	32	1	0
公務・その他	5	5	9	0
合計	88	92	135	9

大学院進学

大学名	人数
尚綱学院大学大学院	4

編入学・専攻科進学

大学名	人数
岩手大学	1
明星大学	1
埼玉学園大学	1
宮城学院女子大学	1
尚綱学院大学	3
尚綱学院大学 女子短期大学部 専攻科	12

勤務地別内定者数

	宮城	青森	岩手	秋田	山形	福島	その他	合計
人間	58	0	1	0	3	4	22	88
健康	48	3	2	2	6	5	26	92
保育	96	4	8	0	6	11	10	135
専攻科	7	0	0	0	0	1	1	9

有資格内定者数

	県内	県外	計
栄養士	30	21	51
幼稚園教諭	47	17	64
保育士	43	22	65

短編集」をフィルムで上映し、2年生の長田枝理子さんが日頃のデイズー研究の成果を活かして作品解説をしてくれました。第2部で上映した「時をかける少女」も、鑑賞した多くの学生の共感を得ていたようです。来年度も多くの学生の参加を期待しています。

(表現文化学科教員 広瀬愛)

## 管理栄養士 国家試験

64名の皆さんおめでとうございませー!

3月22日(日)実施の第23回管理栄養士国家試験の合格発表が5月8日(金)

ありました。本学では、健康栄養学科の3期生88名が受験し、64名が合格しました。昨年の合格者数55名、合格率59.1%を大幅に上りました。合格率は72.7%で、東北・北海道地区の管理栄養士養成施設9校の中で最高の成績でした。

管理栄養士養成課程(新卒)の平均合格率はこの数年低下傾向にあり、今回は全国平均が74.2%でした。このような状況の中、徐々に合格率を上げ、今回は全国平均に並ぶ成績を上げたことは大健闘であったと思います。

(健康栄養学科長 布木和夫)

# 2010年度 大学オープンキャンパス

- 8月1日(土) 9:30~15:00
  - ・内容 体験学習、入試説明会、進路就職コーナー、個別相談会、奨学金・教育ローン説明会、キャンパスツアー・生活圏ツアー等・保護者対象セミナー
  - ※ 地下鉄長町南駅からシャトルバスを運行します。(7:45~10:05の間、約10分間隔運行)
- 7月11日(土)・9月26日(土) 9:30~13:00
  - ・内容 体験学習、個別相談会、キャンパスツアー
  - ※ いずれの参加者にもランチ(軽食)を用意しています。さらにオリジナルグッズを無料で差し上げます。※ 上履をご持参ください。



**申し込み方法**  
専用ハガキ、ホームページ、携帯サイトからお申し込みください。

お申込みお問合せは大学入試広報課  
**TEL 022-381-3311** (直通) **FAX 022-381-3325**  
 ● ホームページ <http://www.shokei.jp/>  
 ● 携帯サイト <http://campus.ktai.at/shokei/> ● E-mail [koho@shokei.ac.jp](mailto:koho@shokei.ac.jp)



# 2010年度 中学校・高等学校オープンスクール

日時	中学(中高一貫)	高校
7月25日(土)	オープンスクール①9:30~	
8月1日(土)		オープンスクール① 9:30~総進コース 13:30~特進コース
8月29日(土)	尚綱祭 入試相談会 10:30~	
9月19日(土)	オープンスクール②13:30~	
10月3日(土)		オープンスクール② 9:30~特進コース 13:30~総進コース
10月17日(土)	一貫入試説明会①	
10月24日(土)	学校説明会・入試説明会 9:30~特進コース 9:30~総進コース	
11月21日(土)	一貫入試説明会②13:30~	
11月土曜日5回	個別入試相談会(9:00~13:00) 11月7日(土)・14日(土)・21日(土) *小学生・中学生・保護者向け	28日(土)・12月5日(土) *中学生・保護者向け
12月12日(土)	一貫入試説明会③13:30~	
1月30日(土)	一貫入試説明会④13:30~	

お申込みお問合せは  
**中高入試広報室**  
**TEL 022-264-5804** (直通)  
 ● ホームページ <http://sh.shokei.jp/>  
 ● E-mail [mail@shokei.ed.jp](mailto:mail@shokei.ed.jp)  
 ※詳しくは、ホームページをご覧ください。

# 2009年尚綱祭

- 8月29日(土) 9時より一般公開
  - 8月28日(金) 13時より校内発表(生徒・保護者対象)
- 高校**  
**テーマ「It's show time ☆」**  
**サブテーマ「Smile Gives Happiness」**  
 S・G・Hは、Shokei Gakuin Highschoolの頭文字でもあります。尚綱祭は、一人ひとりが主役です。そして、尚綱にかかわるすべての人の笑顔で、幸せがもたらされますようにという願いが込められています。
- 中学**  
 ①部活発表(室内楽部・情報発信部・シオンの会・茶道部・合唱部・ダンス部他)  
 ②学習企画テーマ「環境問題・エコについて考えよう」クラスごとに研究調査したことを発表します。  
 ③クラス企画 中学2年・中学3年

# 後援会

# 役員会

5月29日(金)木村副会長の礼拝に続き、高橋会長の挨拶で開会しました。学院を代表して加藤学院長より、施設援助金に対する御礼と学院全体の様子をお話いただき、議事に入りました。

- ①08年度活動報告
  - ②08年度収支決算報告・会計監査報告
  - ③09年度活動計画案
  - ④09年度収支予算案
  - ⑤役員の一部改選
  - ⑥その他後援会の規約改定について
- ①から⑤については異議なく承認しました。⑥については、高橋会長から

2008(平成20)年度 尚綱学院後援会収入支出決算書

収入総額	支出総額	差引次年度へ繰越
55,284,721	54,209,875	1,074,846

繰越金内訳

現金	15,568
銀行預金	993,918
振替貯金	65,360
合計	1,074,846

収入の部

科目	予算額	決算額	差異	摘要
会費	54,334,000	54,040,900	293,100	
基礎会員会費	51,834,000	51,459,900	374,100	月額1,700円・教職員月額500円
賛助会員会費	2,500,000	2,581,000	△81,000	卒業生会員、旧教職員
寄付金	0	0	0	
雑収入	0	103,891	△103,891	預金利息他
繰越金	1,139,930	1,139,930	0	2007年度より
基本金取崩し額	0	0	0	
合計	55,473,930	55,284,721	189,209	

支出の部

科目	予算額	決算額	差異	摘要
援助金	30,000,000	30,000,000	0	
施設援助金	30,000,000	30,000,000	0	学院へ援助
基本金繰入額	16,500,000	16,000,000	500,000	
機関誌発行費	3,850,000	3,386,623	463,377	
印刷費	2,100,000	1,860,924	239,076	尚綱誌隔月印刷費
発送費	1,750,000	1,525,699	224,301	尚綱誌発送費、尚綱誌送付封筒
事務費	4,207,000	4,276,711	△69,711	
人件費	3,500,000	3,650,423	△150,423	職員3名
旅費交通費	100,000	71,010	28,990	編集委員会・役員会交通費
会議費	30,000	29,471	529	編集委員会会議費、その他
消耗品費	80,000	75,949	4,051	事務用品
通信費	60,000	61,856	△1,856	電話料、各種発送物郵便料
什器備品費	200,000	199,793	207	パソコン、イス、複合機、複写機、その他
プロバイダー料金	80,000	61,235	18,765	プロバイダー料金、無線LAN工事費
コピー機リース代	7,000	6,510	490	
雑費	150,000	120,464	29,536	振込手数料、大学定演祝金、その他
移転料	550,000	546,541	3,459	名取へ移転事務至工事代、備品代、その他
予備費	366,930	0	366,930	
小計	55,473,930	54,209,875	1,264,055	
繰越金	0	1,074,846	△1,074,846	次年度へ繰越
合計	55,473,930	55,284,721	189,209	

基本金会計

項目	収入	支出
2007年度より繰越	26,227,452	
2008年度利息収入	153,746	
2008年度繰入	16,000,000	
2008年度取崩し		0
合計	42,381,198	0
2009年度へ繰越		42,381,198

# 2009年(平成21)年度 尚綱学院後援会収入支出予算案

科目	予算額	前年度予算額	差異	摘要
会費	55,793,000	54,334,000	1,459,000	
基礎会員会費	53,293,000	51,834,000	1,459,000	保護者会員月額1,700円 教職員月額500円
賛助会員会費	2,500,000	2,500,000	0	卒業生会員、旧教職員
繰越金	1,074,846	1,139,930	△65,084	2008年度より
合計	56,867,846	55,473,930	1,393,916	

支出の部

科目	予算額	前年度予算額	差異	摘要
援助金	30,000,000	30,000,000	0	
施設援助金	30,000,000	30,000,000	0	学院へ
基本金繰入額	17,000,000	16,500,000	500,000	
機関誌発行費	3,850,000	3,850,000	0	
印刷費	2,100,000	2,100,000	0	尚綱誌6回分 約5000部
発送費	1,750,000	1,750,000	0	尚綱誌発送費、封筒
事務費	5,740,000	4,207,000	1,533,000	
人件費	4,000,000	3,500,000	500,000	職員2名
旅費交通費	70,000	100,000	△30,000	役員会交通費・その他
会議費	30,000	30,000	0	役員会・編集委員会・その他
消耗品費	120,000	80,000	40,000	事務用品(移転につき文具・小物類購入)
通信費	70,000	60,000	10,000	各種発送物郵便料・切手代・電話代
什器備品費	300,000	200,000	100,000	事務室エアコン工事・空調工事・カーテン代
パソコン関連費	200,000	87,000	113,000	プロバイダー料金・保守点検費・ホームページ移行
雑費	950,000	150,000	800,000	同窓会各等々スラム作成・人件費負担分 振込手数料等
(移転料2008のみ)		550,000	△550,000	名取への移転費
予備費	277,846	366,930	△89,084	
合計	56,867,846	55,473,930	1,393,916	



定であること、また地域貢献 社会との連携を図る活動の場として、尚綱学院生涯学習センターを開設したことが、このお話をいただきました。佐藤中高

校長からは男女共学が更に進み今年度は約1割が男子生徒となり、施設の整備が中高的課題となっていること等のお話をいただきました。また本日公開のため出席できなかった加藤学院長に代わり、菊池事務局長より学院への施設援助金に対する御礼と今後様々な資金が必要のため12月まで行っている募金活動に更なる声掛けをお願いしたい旨の挨拶をいただきました。

続いて、議事に入り、役員会同様に審議が進み、議事は承認されました。またその他として、高橋会長より、規約改正の方向性について、代議員制を採用して後援会総会がより現実的な形になるように検討したいとの説明があり、それに基づき意見交換がされました。今後更に具体的な協議が必要

- 2009年度後援会役員**
- 会長 高橋 倫
  - 副会長 太田 喜郎 木村 相衣子
  - 理事 小泉 ひとみ 坂口 正(新)
  - 小島 典子(新) 松坂 宏造(新)
  - 石田 一彦(新) 長田 可奈(新)
  - 三浦 律子 福士 淑恵
  - 監事 佐久間 新一 菊池 和子
  - 顧問 丹野 英機
  - 顧問 加藤 正名(新) 佐々木 公明
  - 顧問 佐藤 信義 菊池 雅人
  - 事務局長 佐々木 寿徳
  - 事務員 齋田 尚子
  - 事務員 穴戸 素子(新)

# 同窓会 コーナー

# 同窓会総会の報告

5月16日(土)、2009年度同窓会総会が153名の出席者によって行われました。

第1部 総会 第2部 礼拝(小林孝男 宗主任による説教 神の御前でまことに価値があること)、第3部 懇親会(西澤優季子さん講話「女性は長生き、あなたらしい生き活き人生を!」と大学の広瀬愛先生によるエラ・オ・パトリックホームの映像と盛りだくさんの内容でした。

第3部の講話ではギターの弾き語りでお話と「100万本のバラ」の



歌精神的自立・経済的自立・社会生活の自立を軸に、これからの生き方を考えさせられました。またエラ・オ・パトリックホームの映像はともなつかしく、尚綱の歴史を改めて感じました。

出席された20代から80代までの方々との交わりを大切に、母校という幹に連なる葡萄のように豊かに実ることを願いつつ、感謝・喜び・感動をいただきました。

同窓会では新年度を歩み出しています。皆様のご協力を宜しくお願い致します。(山内宗子)



# 同窓会支部総会予告

支部名	開催予定日
塩釜	7月25日(土)
北海道	9月5日(土)
巨理	9月12日(土)
登米	9月26日(土)

※塩釜支部は今年のみ変更  
 参加ご希望の方は、同窓会事務局までご連絡下さい。  
 電話:022-264-5830